

らということでご考えたかったんだな
ということがこの学校へ来てしみじみわ
かりました。

男の学生が農業に取り組む姿勢をみ
て、こういう人のもとにだったらいいお
嫁さんだって来るんじゃないかなと思
います。私は自分の家を継いでいこうとい
う考えでしたので、いい男が来てくれ
たら、農業も楽しくやっていけるなと思
っています。

井 農家の女性の人は、農家以外の家
にお嫁に行きたいという志向が非常に強
いんですが、後藤さんは、そうは思いま
せんか。

後藤 考え方に個人差はあると思いま
す。でも私の場合は、小さい頃から農業
を見て来ましたし、農業が全然きつくな
いということにはしませんけど。男
性の方がしつかりした考えを持った人
で、農業が苦しくても二人でやってゆ
けるという人だったら、女性の方で農
業がきらいという人でも「やってみよ
うかな」、「少しぐらい土をさわってみ
ても悪くないんじゃないかな」という考
えになると思います。やっぱり男性の方
第ではないでしょうか。

沢村 私も、問題は女性ではなくて、男
性自身じゃないかと思っています。百姓
がきらいと言ってもその男性に魅力をも
てば、その男性がやっている仕事に女性

として努めなければいけないという考え
に段々変わっていくんじゃないかと思
います。私も農家だから全然嫁が来な
いんじゃないかといった心配はしていま
せん。

梶原 私の地域でも、そういった事情を
持った人はたくさんおられますが、どの
人もいい嫁さんをもらっておられます。
最終的には、その人の人間性、行動力
はないでしょうか。女性の人もそういう
みる目をもってほしいと思います。

井 皆さん、明るい見通し、希望的な考
え方ですよね。私もそう思います。
農家に嫁に来てほんとうによくやって
いる人の話を聞いてみますと、農家に嫁
に来てほんとうに良かったということよ
く聞きます。そういう農家のご主人はよ
くやっています。一緒に農場に出て、一
緒に汗を流している。

しかし、やっぱり、りっぱなお嫁さん
を迎えるためには、ちゃんとした考え、
すばらしい農業を作り上げる意欲と努力
がなくてはいけないと思います。

ところで毎日の学科、実習について皆
さんの意見を聞かしてほしいと思いま
す。かなりむずかしい学科もあるし、実
習もある。実験などもありますね。そ
ういう中で、すばらしいこと、あるいはこ
の点ではもうちょっとどうかという意見
を学生の立場から。

ったと思うだろうし、また、茶道とか華
道もやりました。これは正課の教科内
容でなかったの土曜日の午後でしたか
ら、寮生としては家に帰りたいわけ
です。それに一期生ということで指導体制
も十分ではなかったわけですが、これな
んかも何もなかったよりは、やってよか
ったという感じですよ。

それから女子学生が少ないんですよ。
学校側ももう少し考えて女性を多くい
てもらいたいですね。

井 教科なんかでもっと女性のために
なる学科をいれる必要があるでしょ
うね。

後藤 もっと実際に身につくようなもの
も、もうちょっと欲しかったと思いま
す。実習にしても、仕方ないことでは
ありませんが、男子に劣るんですよ。
自分ではがゆくなった時もありました。

大賀 男女学生の比率はどうなってい
るんですか。

井 全校生二百八十名のうち、女子が二
十四名です。将来のカリキュラムの編成
にあたってはもう少し女子学生にも焦
点をあてて考えていく必要があると思
います。

みなさんは土曜、日曜は家に帰るわけ
で、寮生活であっても家に帰って両親と
接する機会が度々あるわけですね。高
校時代と農業大学校にきてからの、家
に帰った時の感じ方、両親の反応はど
うですか。

農業経営に自信つく

梶原 一番最初に大学に入って悩み苦し
められたことは一般教養の学科でした。
一般的な教養として知っておかなければ
ならないことはわかってはいるんですけ
れども、内容が高度で理解できず授業が
おもしろくなくなり、一年生の時には、こ
の大学に何を勉強に来たんだろうかとい
う迷いも生じました。

そんな中でも、農業実習面の免許取得
とか午後は実習なんかがあり、ある程度
助けられた思い出でした。

二年の時は、自分にとっては、一年の
時と打って変わって、中身の濃い学年じ
やなかったかと思っています。委託研修と
いうことで、先進地にも実習に行きまし
たし、卒業後ためになるような色々な免
許も取得しました。二年になって自信が
ついたというか、ある程度目的が達成さ
せられたような感じがしています。

井 農家実習、それから専門学科等に
ついてはどうですか。

沢村 農家実習、いわゆる先進地研修と
いうのは、みんなそれぞれに効果があ
ったと思います。私も河内のみかん農家

に行きましたがかん農家の経営、家族の
雰囲気などいい点でつかめてきたと思
っています。

それからこれは学校内のことですが、
私が印象深く思っていることは、一年生
の時、何もなかったこの農地にみんな
植え穴を掘って苗から育て上げたとい
うことです。これは卒業してからも決して
忘れないと思います。

井 女子学生の立場から、この学科、特
に生活関連の学科についてどうですか。

後藤 私たちは男子学生より余分に習
った学科があるんです。調理とか和裁と
かを。それをつくってごらんといわれ
ても実際にはうまくできませんけれども、
将来農家の主婦になった時、習ってよ



井 大学にきてそれぞれ成長したとい
うことが自分でも感じられる、お父さん
たちもずいぶん感じてらっしゃるでしょ
うね。

後藤 私は土曜日に家に帰って一番思
うことは、はじめて家を離れて、我が家
というものが自分にとってどんなものだ
ったかがしみじみわかったんですよ。や
り家っていいなと思うし、だからこそ
っと勉強して、自分の家をもっと明る



▲最大の収穫は多くの仲間